- Apple社製XserveRAID専用接点信号ケーブル(型式:BUC28)は、オムロン製無停電電源装置(UPS)とApple社製XserveRAIDを接続するための専用ケーブルです。
- 当社製無停電電源装置とApple社製XserveRAIDを組み合わせて使用することにより、入力電源異常(停電など)時にApple社製XserveRAIDの書き込みキャッシュをクローズすることができ、XserveRAIDの電源を切ることができます。

１． 対応機種

● Apple 社製 XserveRAID

２． 対応無停電電源装置

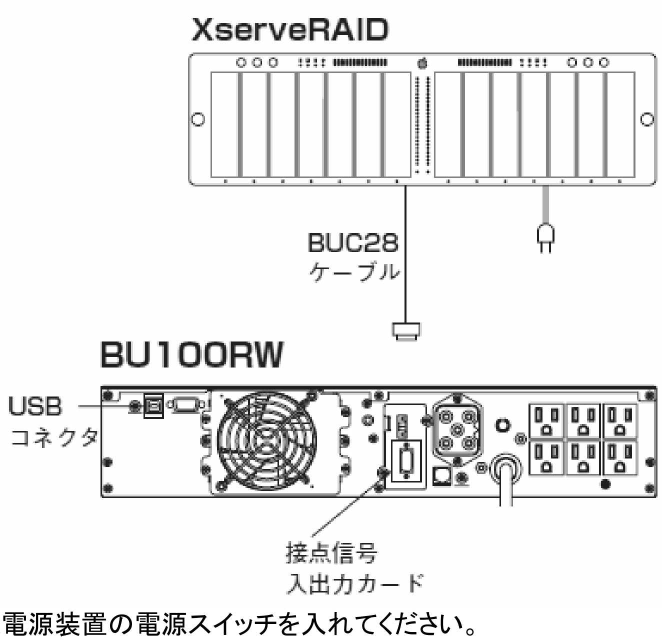
● BU100RW/BU200RW/BU300RW
● BN50S/BN75S/BN100S/BN220S/BN300S (※オプション＜型式:SC07＞が必要です。)
対応無停電電源装置の最新情報については、周辺機器ホームページ(http://www.omron.co.jp/ped-j/)をご覧ください。

３． 同梱物

● 専用ケーブル 1 本
● 取扱説明書(本書) 1 枚

４． 接続方法

(1) XserveRAID と無停電電源装置の電源を切ってください。
(2) 対応無停電電源装置に標準搭載またはオプション(型式:SC07)の接点入出力カードジャンパー設定を変更してください。
【ジャンパー設定内容】
① 接点信号入出力カードの JP2～ JP9 のジャンパー設定(8 個)を「SC05/06」側へ変更してください。
② JP10 のジャンパー設定を「SC05XSR」側に変更してください。
(3) 対応無停電電源装置に設定変更した接点入出力カードを無停電電源装置に装着してください。
(4) XserveRAID のシリアルポートに本ケーブル(型式:BUC28)のコネクタ(メス側)を接続し、コネクタの固定ネジを時計方向に回して固定してください。
接点入出力カード本体に同ケーブルのコネクタ(オス側)を接続し、コネクタの固定ネジを時計方向に回して固定してください。
【接続例】



(5) XserveRAID と無停電電源装置の電源スイッチを入れてください。
【備考】 対応無停電電源装置またはオプション(型式:SC07)の取扱説明書にも XserveRAID との接続方法を記載していますので、必ずご一読ください。

５．　無停電電源装置起動時に XserveRAID を自動起動するための設定変更手順

(1) RAIDAdmin を開く。
(2) 対象の XServeRAID を選択し、XServeRAID へログインする。
(3) ログイン完了後、RAIDAdmin 画面の「設定」ボタンをクリックできるようになるので、「設定」ボタンをクリックして、画面を開いてください。（設定変更するために RAIDAdmin の管理者用パスワードを求められますので、入力してください。）
(4) 設定画面を開いた後に、システムのタブの画面内に「オプション」欄があります。このオプション欄の「停電後に自動的に再起動する」のチェックボックスにチェックマークを入れてください。
(5) 設定完了後、「OK」ボタンをクリックしてください。

６．　動作確認について

(1) 無停電電源装置の入力電源プラグを商用コンセントから抜いて、無停電電源装置をバックアップ運転状態にしてください。
(2) バックアップ運転状態にすると、無停電電源装置が停電信号を出力します。XserveRAID が停電信号を受信すると、書き込みキャッシュがクローズされます。
（OS 上の RAIDAdmin の情報画面で書き込みキャッシュの欄が「使用しない」と表示されます）
(3) 「XserveRAID」の電源を切ることができます。
(4) 動作確認後は、無停電電源装置の入力電源プラグを商用コンセントに挿してください。